会報 一般社団法人 日本トンネル技術協会

会員の現況／9月30日現在

個人	団体	推薦	特別	名誉	学生	賛助	合計
744名	195名	208名	11名	9名	1名	219名	1,386名

委員会開催状況（9月1日～30日）

【総務委員会】

□**広報小委員会**

会誌WG(9/8)(オンライン併用)
木村宏主査ほか10名，10月号の会報と3か月計画を検討

【事業委員会】

海外技術調査WG(9/16)(オンライン併用)
入江健二主査ほか10名，海外技術調査団の調査目的と実施計画を検討

【国際委員会】

□**海外情報小委員会**

海外ニュースWG(9/28)(オンライン併用)
清水健志主査ほか7名，海外文献の査読と抄訳の選定

【技術委員会】

□**保守管理小委員会**

小委員会(9/1)(オンライン併用)
井料青海委員長ほか12名，実施計画内容と方針を検討

□**都市トンネル小委員会**

改善WG(9/11)(オンライン併用)
河越勝主査ほか16名，トラブル事例集原稿案を検討

□**山岳工法小委員会**

支保WG(9/17)(オンライン併用)
佐原圭介主査ほか24名，掘削・支保工作業の生産性にかかわる問題点と課題を検討

□**安全環境小委員会**

肌落ち災害防止対策WG(9/7)(オンライン併用)
浅野健一郎主査ほか8名，肌落ち災害アンケート結果の内容を検討

自然由来重金属対策WG(9/8)
岡山孝主査ほか6名，重金属事例調査を検討

□**技術変遷史編集小委員会**

山岳工法編集WG調整グループ(9/30)
小島芳之主査ほか5名，技術変遷史(山岳)の対応状況と方針を検討

【北海道新幹線トンネル施工技術委員会】

機械化施工小委員会(9/29)(オンライン併用)
杉本光隆委員長ほか53名，検討課題と対応状況などを検討

合計　10回　161出席

国際会議の開催予定

第53回ITA総会およびWTC 2027
Underground Creativity to Meet Societal Needs

開催日	2027年4月23～29日	場所	アントワープ(ベルギー)
主催者等	the Belgian tunnel Association/ITA(国際トンネル協会) https://wtc2027.com		

第54回ITA総会およびWTC 2028
Building Smarter Underground for a Sustainable Future

開催日	2028年4月21～27日	場所	シンガポール(シンガポール)
主催者等	Tunnelling and Underground Construction Society(Singapore)/ITA(国際トンネル協会) https://wtc2028.org		

第55回ITA総会およびWTC 2029
Connecting Regions and Generations

開催日	2029年4月20～26日	場所	ウィーン(オーストリア)
主催者等	Austrian National Committee of ITA/ITA(国際トンネル協会)		

問い合わせ先：関　E-mail：noriko.seki@japan-tunnel.org　TEL：03-3524-1755

催物開催状況・予定

網掛け部は実施済

	催物名	開催日	人数	場所	CPD
現場研修会	新山科浄水場導水トンネル築造工事	2026. 2. 5	13	京都	2.0
	国道41号門原1号トンネル工事	2026. 4.22	19	岐阜	2.0
	水路トンネル　東村山導水管工事	2026. 5.28	7	東京	2.0
	金沢東部環状道路　森本トンネル	2026. 6.17	14	石川	2.0
	北海道縦貫自動車道大沼トンネル(峠下工区)	2026. 7.23	20	北海道	2.0
	県道上松南木曽線　読書ダム～戸場(1号トンネル)	2026.10.28	15	長野	2.0
	都市計画道路横浜逗子線　横浜逗子線トンネル	2026.11.26	20	神奈川	2.0
施工体験発表会	第98回施工体験発表会(山岳部門)「様々な課題にチャレンジした山岳トンネルの建設およびトンネルリニューアル工事」―創意工夫，生産性・安全性向上，働き方改革―(オンライン併用)	2026.10.15	150(対面)	東京	5.4
	第99回施工体験発表会(都市部門)「都市部でのトンネル・地下構造物を新設・改造」―AI，DXの活用，環境配慮，創意工夫―(オンライン併用)	2026.10.16	150(対面)	東京	2.7
講習会	第12回山岳トンネル維持管理業務講習会(基礎編)	2026.12.11	40(対面) 100(オンライン)	東京	5.9
	第11回山岳トンネル維持管理業務講習会(実践編)	2027. 1.29	40(対面) 100(オンライン)	東京	6.0
研修会	トンネル技術ステップアップ研修会(山岳部門)	2026. 6.24, 25	23	東京	11.9
	トンネル技術ステップアップ研修会(シールド部門)	2026. 7. 1, 2	39	東京	13.9
講演会	トンネルの日記念技術講演会	2026.10. 2	55(対面) 128(オンライン)	東京	

問い合わせ先　E-mail：event@japan-tunnel.org　　TEL：03-3524-1755

第2回　助成研究の研究成果発表会

本会では「研究助成制度」を設け，令和3年度から大学などの研究者によるトンネル・地下空間の建設・維持管理に資する技術開発・研究を支援しています．今般，5件の研究の助成期間が終了したので，その研究成果について研究者から発表していただきます．

■開 催 日 時　令和8年11月24日(火)　14：00～
《オンデマンド配信：12月1日(火)～12月24日(木)予定》

申し込みフォーム

■開 催 方 法　オンライン(Zoomウェビナー)開催
発表内容に関する質問は，発表会開催当日，チャットにより受け付けます．

■申し込み方法　JTAウェブサイトの申し込みフォームからお申し込みください．
(申し込みいただくと，聴講するためのURLを連絡します．)

■プログラム

14：00～　開　　会
14：05～　掘削時の地山補強を目的とした補助工法の選定手法に関する研究
砂金　伸治氏(東京都立大学)
14：35～　膨潤性地山に起因するトンネルの変状メカニズムの解明とその対策の構築
崔　　瑛氏(横浜国立大学)
15：05～　地下水水質を用いたトンネル前方の地質構造推定の精度向上
太田　岳洋氏(山口大学)
15：35～　膨潤性岩盤モデルの開発と膨潤性地山トンネルの設計・施工の合理化
星　啓太郎氏(東北大学)
16：05～　常時微動計測を用いた山岳トンネルの振動特性の把握に関する研究
河田　皓介氏(東京都立大学)
16：35～　閉　　会

研究成果公開

研究成果報告書は，JTAウェブサイトで一般公開しています．
Microsoft Formsによるアンケートを実施しますので，ご協力をお願いします．
本発表会では，CPDを設定していません(聴講料無料)．